

特集

# 松浦市の軌跡を辿り 未来へ

新「松浦市」は、平成18年1月1日、旧松浦市と福島町、鷹島町が合併し誕生しました。「産業創造！次代へ漕ぎ出す松浦市～自然のめぐみを活かした『個性』きらめく『交流』と『ぬくもり』のあるまちづくり～」を新市建設の基本理念として掲げ、市民と市議会、行政が一体となった協働によるまちづくりを進めてきました。

新市誕生から12年、これまでの歴史をまちづくりの礎とし、未来へとつないでいきます。





新「松浦市」第2代市長  
友田 吉泰氏

# 軌跡がつなぐ輝く未来

## 「住み続けたい」「住んでみたい」「まちに

市政を進めるためには市民と対話し、受け継がれてきた想いを感じながら次代へ繋げていくことが大切です。

「市民との対話で創る新しい市政」に向け、たたき台となる「ともだビジョン」の概要を紹介いたします。5つの政策の柱のもとに45の各種施策があります。

### 市民との対話

市政は市民のためにあらゆる施策を講じています。だからこそ、まずは市民の意見を広く聴く「広聴」を徹底し、市民の意見がしっかりと反映される市政、市民の声にこたえる市政をめざします。

### してん(視点・支店)を変える

同じものを見ても視点を変わると違うように見えたり、支店を変えるとバランスが変わるように、まちづくりにおいても「してん」を変えることで今までと違う発想が生まれ、活性化に結びつくものと考えます。従来のやり方に固執せず「してん」を変えて新しい松浦を創ります。

### 5つの政策の柱

#### 「住み続けたい」を実現できるまちづくり

- ①西九州自動車道の整備促進
- ②地域の価値観(松浦らしさ)の確立
- ③幅広い意見を反映させた「第2次松浦市総合計画」の策定
- ④小学校区を対象とした協働によるまちづくりの推進
- ⑤地域の「豊かさ」や「暮らしやすさ」などの幸福度に関する独自指標の設定
- ⑥まちの魅力を向上させる文化・スポーツ・生涯学習の推進
- ⑦三世代同居・近居支援制度の充実
- ⑧移住促進と空き家活用のための支援制度の創設
- ⑨新福島大橋の建設
- ⑩統廃合された旧校舎の活用
- ⑪現有する文化・レジャー施設の最大活用
- ⑫情報通信基盤の整備促進

#### 「地域が潤う」産業づくり

- ①松浦魚市場の再整備事業の推進
- ②地域を生業の場とする第一産業の振興
- ③既存企業の事業拡大への支援
- ④基盤産業の確立に向けた地域経済構造分析の実施
- ⑤商工業の振興による地域内経済循環の推進
- ⑥体験型観光への個人旅行者の獲得と6次産業化の推進
- ⑦商店街の賑わいと魅力づくりの推進
- ⑧地域の資源を活かした観光振興
- ⑨まつうら親孝行プロジェクトの導入による域外需要の獲得
- ⑩元寇博物館の建設とその縁を活かした国内外との交流促進
- ⑪福島町の地形と景観を活かしたオルレオコースの認定取得と観光客誘致
- ⑫景観に優れた場所の有効活用による交流人口の拡大
- ⑬アジアライの聖地をめざすまちづくり

#### 安全・安心に暮らせるまちづくり

- ①将来にわたる地域医療の確保
- ②あらゆる災害を想定した防災対策の充実強化
- ③福祉・保健サービスの充実による健康づくり

#### 次代を担う人づくり

- ①未来を担う子ども達への積極投資
- ②地域全体で子どもを育む環境づくりへの支援制度の創設
- ③地域を担う人材の育成と誘致
- ④ウツドスタートの導入とおもちゃ美術館の建設
- ⑤健康ポイントの創設による健康づくりの推進
- ⑥障がいのある人もない人も共に生きる平和なまちづくり
- ⑦高年齢者の元気があふれるまちづくり
- ⑧安心して産み育てられる子育て環境づくり
- ⑨障がいのある人もない人も共に生きる平和なまちづくり

#### 民間の感覚を活かした市民役所づくり

- ①年間目標の設定と進捗管理
- ②成果にこだわる事業展開
- ③職員提案制度の導入による職場の活性化
- ④明確な方針に基づき人財育成
- ⑤自ら稼ぐ市民役所づくり
- ⑥市民の声を市政に反映させる仕組みづくり
- ⑦市民とプロセスを共有する市民役所づくり
- ⑧公共施設サポーター制度の創設
- ⑨政策で人を呼び込む市民役所づくり

※「ともだビジョン」の詳細は、市のホームページで確認できます。政策企画課秘書係または各支所・出張所などでもお渡しいたします。